（変更１回）契約変更の内容

契約変更年月日	令和8年10月30日
契約業者名	東亜・青木特定建設工事共同企業体
契約業者の住所	広島市中区立町２番２３号
工事の名称	水島港水島地区泊地（-14m）浚渫工事
工事場所	浚渫工：水島港水島地区、土砂改良投入工：岡山県倉敷市児島沖合
工事種別	港湾等しゅんせつ工事
工事概要 （変更した内容）	別添工事数量総括表のとおり
工期（自）	令和8年6月29日
工期（至）	令和8年11月18日
変更前の契約金額 （税込）	￥493,900,000.-
変更金額（税込）	￥4,950,000.-
変更後の契約金額 （税込）	￥498,850,000.-
変更理由	別添変更理由書のとおり

工事数量総括表　　（参考資料）

工事名	水島港水島地区泊地(−14m)浚渫工事(変更)				事業区分	港湾整備	
					工事区分	泊地(−14m)	
工事区分・工種・種別・細別	規　　格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘　　要	
泊地(−14m)							
浚渫工							
グラブ浚渫工							
グラブ浚渫	計画水深−14m	m3	9,649	8,995	△ 654	暫定水深(−12.5m)	
						(参考数量)純土量	
						粘土質土砂N＜10	8,995 m3
土砂改良投入工							
土運船運搬工							
土運船運搬		m3	11,193	10,434	△ 759	ほぐしの土量	
土砂改良投入工							
カルシア改質材		m3	8,288	8,043	△ 245		
土砂改良投入工		m3	55,254	53,625	△ 1,629	本工事改良土量	
							12,276 m3
						別件工事改良土量	
						別件工事1	26,107 m3
						別件工事2	15,242 m3
土砂改良特許料		式	1	1	1	対象	53,625 m3
共通仮設							
共通仮設費							
回航・えい航費							
回航	カルシア落下混合船	式					
	グラブ浚渫船	式		原契約のとおり			
えい航	土運船	式					
	ガットバージ	式	0	1	1	往復	
運搬							
仮設材等運搬		式		原契約のとおり			
事業損失防止施設費							
汚濁防止枠		式	1	1	△ 1	20m×20m カーテン丈長5m	
						(汚濁防止枠組立のみ)	
安全費							
安全対策	安全監視船	式		原契約のとおり			
	安全管理業務	式					
技術管理費							
技術管理	改良土事前配合試験	式					
	改良土施工時品質管理	式	1	1	1	(品質試験の追加)	
	諸経費動向調査	式	0	1	1		
	CCUS費用	式	0	1	1		
水雷・傷害等保険料							
水雷保険	グラブ浚渫船	式		原契約のとおり			
	土運船	式					
現場環境改善費							
現場環境改善	快適トイレ	式	0	1	1		
役務費							
借り上げ料等	係船料	式	0	1	1		
	土地借り上げ料	式	0	1	1		
測量業務							
深浅測量							
深浅測量							
測量準備		式	1	1	1		
水深測量	マルチビーム測深	式	1	1	1	事前測量	127,100 m2
						事後測量	127,100 m2
成果		式	1	1	1		

（別紙）

変 更 理 由 書

１．工 事 名　　水島港水島地区泊地（-14m）浚渫工事

２．工　　期　　令和８年６月２９日～令和８年１１月１８日

３．請負金額　　４９３，９００，０００円

４．変更理由

本工事は水島港水島地区泊地（-14m）の浚渫工及び土砂改良投入工を施工するものであるが、今般、以下の理由により設計図書を変更する必要が生じた。

１）水深測量（土砂投入箇所）：事前測量の追加
土砂投入箇所について、投入前時点での地形を記録しておく必要が生じたため、水深測量（土砂投入箇所）に事前測量を追加する。

２）事業損失防止施設：汚濁防止枠カーテン撤去の取り止め
当初、汚濁防止枠に設置するカーテンは工事終了後、撤去することとしていたが、後続工事で継続使用することで、受注者間の調整が整ったことから、撤去を取り止める。

３）共通仮設：間接工事費等諸経費動向調査の追加
特記仕様書 7-5-5(2)に基づき、間接工事費等諸経費動向調査の対象工事となったため、調査を追加する。

４）共通仮設：回航・えい航費の追加
ガットバージ船が水島港に在港していないことを確認できたため、えい航費を計上する。

５）技術管理：改良土施工時品質管理の項目等の追加・変更
改良土事前配合試験の結果を踏まえ、施工時品質管理の試験項目等を追加変更する。

６）浚渫工：事前測量結果に基づく浚渫数量の変更
特記仕様書 7-3(2)に基づき、事前深浅測量の結果を踏まえ、浚渫数量を変更する。

７）土砂改良投入工：投入数量の変更
事前測量結果により本工事および別件工事の浚渫数量が確定したため、特記仕様書 7-4 (9) に基づき、土砂改良投入数量を変更する。

８）共通仮設：汚濁防止枠組立ヤードの使用料金の追加
汚濁防止枠組立ヤードとして作業ヤード（１）を使用したことから、その使用料金を追加する。

（別紙）

９）共通仮設：ユニフロート組立・解体ヤードの使用料金の追加
ユニフロート組立・解体ヤードとして作業ヤード（２）を使用したことから、その使用料金を追加する。

１０）共通仮設：土砂改良投入に係る作業船の係船料の追加
土砂改良投入に係る作業船について、本工事完了後の回航（復路）にあたり、台風の影響により、水島港での係留待機が必要となったため、係船料を追加する。

１１）共通仮設：快適トイレにかかる費用
快適トイレの設置を確認したため、その費用を計上する。

１２）共通仮設：CCUS モデル工事に係る費用について
CCUS の活用を確認できたため、特記仕様書 8-27(6)に基づき、その費用を計上する。

１３）その他：諸経費検証モデル工事に係る費用について
「諸経費検証モデル工事」実施要領に定める全ての評価条件の履行を確認したため、特記仕様書 8-22(5)に基づき、割増を考慮した現場管理費率を適用する。

以上